

学校教育目標

ふるさとの恵みに感謝し
活力ある児童の育成

- いのちを大切に子ども
- 自ら学ぶ子ども
- 気品のある子ども



もみの木



日光市立日光小学校だより

平成28年12月22日発行(1)

Tel 0288-54-0070

Fax 0288-54-0457

<http://www.nikko.ed.jp/nikko/>

早いもので、もう12月。1年の終わりの月となりました。12月のことを旧暦で師走(しわす)と言いますが、実はその正しい語源は、はっきりとは分かっていないのです。よく「師」を教師のこととして、“先生が走るくらい忙しい月”の意味だと言われますが、「師」を和尚(お坊さん)とする説も存在します。古来日本では、年末になるとお坊さんに自宅まで来てもらい、お経を唱えてもらっていました。12月になると、“あちらこちらからお経の依頼があり、お坊さんが忙しく動き回る月”という意味で「師走」です。いずれにしても、年末の忙しさを表したものであることには変わりありません。

しかし、よくよく見ると、今の世の中、12月に限らず、いつでも忙しいような気がしてなりません。せめて、正月くらいはのんびりしたいですね。皆様、よいお年をお迎えください。来年もどうぞよろしく願いいたします。

「もみの木」12月号の特集は、本校の「特別支援教育」について、です。特別支援教育コーディネーターの宮本先生から説明していただきます。どうぞ、お読みください。

ソーシャルスキルって？



今、お子さんは何年生でしょうか。小学1年生であれば、小学校であと5年間、中学校では3年間の義務教育を受けます。例えばその後、高等学校進学後に親元を離れるとしたら、あと11年間で社会に出ていくことになります。その時に必要となるスキル(技能)がソーシャルスキル(社会技能)です。

ソーシャルスキルとは、社会の中で普通に他人と交わり、共に生活していくために必要な能力のことです。具体的には、あいさつ、依頼、交渉、自己主張などが挙げられますが、それらを身に付け、その後の長い社会での生活で生き抜いていくことになります。そう考えると、親元で学ぶこの期間は、とても重要な時期だと思えてなりません。お子さんの学力ばかりに目が奪われがちですが、社会の中で生きるために必要なスキルは身に付いているでしょうか。以下に例を挙げてみます。

- 自分に関する数字等が言える。
(住所・郵便番号・電話番号・身長・体重・靴のサイズ・服のサイズ)
- 家族のことを知っている。親類の関係性を知っている。(いとこ・おじ・おば)
- 服を自分で選べる。
- 暑さ寒さを考えて、衣服その他の調節ができる。
- 具合が悪くなったらどうすればいいか、ある程度わかる。
- 自分の体調の悪さに気付いて、伝えられる。
- お金の管理ができる。
- 自分の部屋を掃除できる。
- 簡単な料理ができる。(卵焼きなど)
- 自由な時間をコントロールできる。
- 自分の長所、短所を知っている。 等々・・・



今の年齢によってできることは様々ですが、そういったスキルを身に付けていくことに関心を向けることも大切だと思います。何でもやってあげてしまうと、必要性に気付かずに大きくなってしまいます。

しかし、「自立」とは一人で何でもできることだけではありません。できないことは、人に頭を下げて教えてもらったり、お願いしたりすることができるということも「自立」であり、そういう場面で必要なコミュニケーションの力は特に重要です。

日光小学校の特別支援教育では、このようなスキルについて学ぶ時間があります。お子さんに必要なものは何か考えながら日々実践しています。

お子さんにとって何が大切かを考えて、多忙なこの時期の子育てを楽しみながら、お子さんと関わっていけるといいと思います。

特別支援教育コーディネーター 宮本 陽子

人権週間 ～にっこり ありがとう運動～



* 学級で掲示した人権週間目標

12月5日(月)～9日(金)、日光小学校は人権週間でした。この期間中、人権アンケートの実施、「にっこり『ありがとう』運動」の実施、下校時のあいさつ運動の実施等、子どもたちの人権意識を高めるための取組が行われました。

また、12月12日(月)には人権集会が開催され、もみの木班(縦割り班)で、全校クイズ大会を行いました。高学年が下学年を気遣いながら問題を解いている姿が見られ、微笑ましかったです。

集会のときには、1週間の「日光小学校で『ありがとう』が言われた回数」が発表されました。全校で24,766回でした。一人あたり1週間で約106回、1日で一人あたり約21回の「ありがとう。」が、日光小学校の中で言われていたこととなります。

人権教育係の先生の創意ある計画のお陰で、日光小学校の子どもたちの中に、優しさと感謝の芽が芽生えました。その芽をさらに大きく、正しく育てていくことが、私たち大人の責任です。

※ 人権週間が終わったときに、本校職員が言いました。「自分以外の人の言動に感謝して『ありがとう。』という感謝の気持ちを伝えられることは、とても大切なことだと思います。それに加えて、『ありがとう。』と感謝してもらえるような行動ができることも大切だと思います。」 同感です!!



* 「あいさつ運動」の様子



(左から、東昇降口、西昇降口、低学年教室出入口)



* 人権集会「もみの木班でクイズ遊び」



* 1週間で「ありがとう」がたくさん響きました



* 「にっこりありがとうバッジ」
期間中、児童・職員全員が名札につけて、「ありがとう」を意識しました

表彰関係

□ 第49回 下野教育書道展 [斜体文字は、硬筆の部]

銀賞	<i>K. S</i>	銅賞	<i>K. R</i>				
奨励賞	<i>U. R</i>	<i>H. S</i>	<i>Y. T</i>	<i>U. R</i>	<i>S. A</i>	<i>N. H</i>	
	<i>U. K</i>	<i>K. T</i>	<i>S. T</i>				
	<i>S. Y</i>	<i>T. M</i>	<i>H. S</i>	<i>H. M</i>	<i>I. N</i>	<i>Y. M</i>	
	<i>S. A</i>	<i>Y. S</i>					
入選	<i>O. N</i>	<i>T. S</i>	<i>O. N</i>	<i>S. K</i>	<i>T. S</i>	<i>F. K</i>	
	<i>M. H</i>	<i>S. Y</i>	<i>I. S</i>	<i>S. A</i>	<i>N. H</i>	<i>M. M</i>	
	<i>U. Y</i>	<i>K. S</i>	<i>O. S</i>	<i>K. N</i>	<i>K. Y</i>	<i>M. A</i>	
	<i>I. K</i>	<i>S. D</i>	<i>U. K</i>	<i>O. T</i>	<i>M. R</i>	<i>O. M</i>	
	<i>S. M</i>	<i>S. K</i>	<i>S. A</i>	<i>N. N</i>	<i>F. S</i>		

□ 日光市人権尊重啓発標語・ポスターコンクール [斜体文字は、ポスターの部]

優秀賞	<i>H. T</i>	<i>F. K</i>	<i>M. H</i>	<i>M. M</i>	<i>O. S</i>	<i>S. A</i>
	<i>O. Y</i>	<i>U. K</i>	<i>M. W</i>	<i>O. S</i>	<i>T. R</i>	<i>S. U</i>
	<i>K. Y</i>	<i>O. T</i>	<i>K. Y</i>			

1月の行事予定

4	水	御用始め
10	火	3学期始業式
11	水	発育測定1年
12	木	発育測定2年 5年社会科見学
13	金	発育測定3年 スケート教室③
16	月	発育測定4年
17	火	発育測定5年
17	火	6年邦楽スクールコンサート
18	水	
18	水	発育測定6年
20	金	避難訓練
23	月	東中入学説明会
30	月	5年臨海自然教室
31	火	(2/1 まで)